

<週報No.2, 858> 2, 969 回例会

2018年10月26日(金)

■会長/古屋 了 ■幹事/加藤 明博

◆司会=伊藤武利 S A A

◆ゲストビジター=城南小学校校長 守屋修介様、城南小学校司書教諭 茅野充代様

◆出席報告

| | | |
|------|--------|-------|
| 本 日 | 65.12% | 18名欠席 |
| 前回訂正 | 79.55% | 10名欠席 |

◆ラッキーナンバー=No.2 小林恭一君

◆ニコニコボックス=●古屋了君=宮坂康弘様入会おめでとうございます。守屋校長先生、茅野先生、本日、ようこそおいでいただきました。●玉本広人君=守屋校長先生、洗濯機寄贈の際は、お世話になりました。連続欠席すみませんでした。●小口武男君=長野日報の宮坂さん、お待ちしておりました。また、古屋会長より地区大会の写真を受けて。●河西正一君=結婚記念日の花ありがとうございました。●伊藤武利君=結婚祝をいただきました。●石田孝一君=結婚記念日のお花ありがとうございました。●有賀昭彦君=結婚祝いを頂いて。●北澤光彦君=結婚祝のお花ありがとうございました。●三井章義君=古屋会長から写真をいただきました。●山田文雄君、八幡一成君、川村総一郎君=地区大会の写真をいただいて。●小林恭一君=ラッキーナンバーに当て。

◆会長告知・古屋了会長=秋晴れ。十数年前の諏訪湖マラソンで藤森郁男会員に抜き去られたことを思い出します。昨日25日は国際ロータリー財団の世界ポリオデーでした。今月は米山特別月間。来月はロータリー財団月間と続きます。本日はそれに先駆けて、私たちのクラブが創立50周年以来12年間にわたり実践して参りました、諏訪市の子ども達への図書贈呈を中心とした教育支援事業について、先生方の現場実践の様子をうかがいます。城南小学校守屋修介校長先生、司書教諭茅野充代先生ようこそおいでいただきました。本日はよろしくお祈り申し上げます。

私は二十代の7年間を小学校教諭として悩みの中で過ごしました。初任の須坂市では学級崩壊したクラスを受け継いで、立て直すこともできずに悔し涙の卒業式。次の茅野永明小学校では、子どもを力で押さえつけるような

やり方でした。今ならば子どもにも家庭にも柔軟にできると思うのですが、若気の至り……。ただ、当時の教え子が当社に入社して18年。今もママさん店長として働き続けてくれているのは張り合いです。

当時私のクラスには、知的な面で障害のあるA君がおりました。彼は障害のある子どものための学級に通いながら行事の時にはクラスに戻ります。ご家族やご近所に大切にされてきたこともあって明るく朗らかなA君を、クラスの人気者として学級づくりの中心に据えてきて下さったのは、前の担任の金田昌子先生。今はロータリアンの奥さまですが、この先生のクラスづくりのおかげで、担任が変わっても子供たちは相変わらずA君をクラスの中心に置き続け、そこから多くのことを気づかされました。先程紹介した教え子店長は、当時A君を最も大切にしていた子どものひとりです。

我々の生活の周辺には必ず「弱者」と言われる存在があります。この「弱者」と言われる存在をどう認識し、どうかわるか。現実には葛藤の連続ですけれど、今感じるのは、葛藤の中でさえも常に「弱者を自分の視野の中心に置き続ける朗らかさ」の大切さです。その途上に自分の置かれた環境の改善と自分自身の充実と拡大があるのではないかと考えております。

ロータリーは奉仕の団体です。藤森郁男会員に何え、現在諏訪市が管理運営している奨学金制度の原資も、米山奨学制度を理想とした寺島先生を中心とする諏訪ロータリークラブの先人の志の結集だとのこと。R Iの財団事業である“グローバルなポリオ撲滅運動”も、“ローカルな教育支援事業”も、ロータリーという朗らかな奉仕の精神に支えられた自分自身の拡大と充実のきっかけかもしれません。

さて、今週末は諏訪湖マラソン。挑戦されるメンバーのご健闘をお祈り申し上げます。

◆幹事報告・山田文雄副幹事=加藤幹事が出張中ですので代わって幹事報告を行います。①本日のクラブフォーラムは「ロータリー財団委員会」です。宜しくお祈りいたします。②11月16日の図書贈呈式と25日のバスハイクのご案内を通知させて頂きました。まだお返事を頂いていない方が居ましたら、布半まで返信をお願いします。一人でも多くのご参加をお願いします。③今回の図書贈呈式は蓼科保養学園で行います。ここから22km、車で37分かかりますが例年20名くらいのご参加を頂いております。

今年も宜しくお願いします。車で登るルートは諏訪湖カントリークラブをそのまま登っても行けますし、理科大から登っても行けます。蓼科カントリーの少し上になります。駐車場は保養学園の下100mくらいでしょうか、S字カーブの始まり右側の小斉の湯の駐車場をご利用ください。20台程度は止められます。当日は加藤幹事が私が立っていることになろうかと思えます。④今月23日(火)に姉妹都市友好クラブの群馬伊勢崎RCと富山新湊RC、岐阜郡上八幡RCの3クラブ26名の会員が布半に宿泊され、当クラブ古屋会長、加藤幹事より地酒の差し入れを行いました。⑤本日より長野日報宮坂様が新会員として入会されました。後ほど新会員の紹介を八幡直前会長から、入会式を古屋会長にお願いします。

◆新入会員セレモニー

一・長野日報社取締役編集長 宮坂康博君

＝生まれも育ちも諏訪です。三井さんの教えを守り、しっかりとやっていきたいと思しますので宜しくお願い致します。



◆クラブフォーラム

ロータリー財団月間

●朝倉英仁委員長＝

図書の寄贈はすでに12年に及ぶ事業となっております。本年は11月16日の例会にて蓼科保養学園への寄贈が予定されています。



本日は城南小学校の守屋修介校長先生、司書教諭 茅野充代様より読書の大切さ、現在までの成果等、お話しいたします。

●守屋城南小学校校長・茅野司書教諭＝いつもロータリークラブの皆様から、学校にたくさんの本を寄贈していただきありがとうございます。諏訪市では、読書を大事に考え、皆様からいただいた本を生かして様々な取組を行っております。よく「活字離れ」と言われておりますが、子どもたちは基本的に読書が好きです。今日は、諏訪市の読書活動推進の取組の様子についてと、城南小学校での取組についてお話しさせていただきます。

茅野先生のお話＝諏訪市では11の小中学校と市図書館が連携して子供たちに本を提供しています。その数、306,041冊です。更に公共図書館のカードを持っていれば、6つの市町村の図書館が利用でき合計991,420冊の本を利用できる環境にあります。



守屋校長先生のお話＝城南小学校では、毎月、最後の日



曜日を「親子ふれあい読書の日」として、テレビやゲームをしないで、親子で同じ本について語り合うこと、読み聞かせをしてもらうこと、親子で読書をする

ることなどに取り組んでいます。

なぜ、読書が大切なのでしょう。読書をすることで、「言葉が豊かになる」「知識が増える」「感じる心が育つ」「考える頭が育つ」など様々な理由が挙げられます。

私が読書の大切さについて考える時、必ず心に浮かぶ言葉があります。美智子皇后のこんな言葉です。

「子どもたちが、自分の中に、しっかりとした根をもつために 子どもたちが、喜びと想像の強い翼をもつために 子どもたちが、痛みを伴う愛を知るために そして、子どもたちが、人生の複雑さに耐え、それぞれに与えられた人生を受け入れて生き、やがて一人一人、私も全てのふるさとであるこの地球上、平和の道具となっていくために」

児童の皆さんには、少し難しいかもしれませんが、人として豊かに生きるために、人生を深く生きるために、読書の素晴らしさを伝えてくれる言葉です。

◆今後の例会日程

| | | |
|--------|---|----------------|
| 11月2日 | 金 | 準法定休日 |
| 11月9日 | 金 | 新入会員卓話(小島拓也会員) |
| 11月16日 | 金 | アクト合同夜間例会 |
| 11月23日 | 金 | 法定休日 |

執筆担当 小口泰幸